

## 埼玉県行田市の田圃アート

本部 北澤 三 明

お米の産地である埼玉県行田市の水田に彩る初夏から秋の風物詩として、定着した田んぼアート。水田をキャンバスに見立てて、色彩の異なる複数の稲を使い、絵や文字を表現するこの取り組みは、行田の観光スポットとして、脚光を浴びています。

約 2.8ha の大きさを誇り、平成 27 年には「世界最大の田んぼアート」として、ギネス世界記録に認定されました。

6 月中旬に田植えを行い 10 月中旬に稲刈りをします。

令和 3 年度デザインは、

「田んぼによみがえるジャポニズム～浮世絵と歌舞伎」

ジャポニズムは、19 世紀後半の日本の開国をきっかけに、日本の文化が西洋諸国の芸術文化に与えた影響のことです。



2021 年 9 月 8 日